



出前講座を行いました

平成27年1月27日(火)に、一関市立南小学校の多目的ホールにおいて出前講座が開催され、3年生児童87名が参加しました。講師の岩手河川国道事務所 工務第三課 外山課長から北上川の概要や昭和22・23年に一関地域を襲った「カスリン・アイオン台風」での被害の様子、また一関遊水地事業の果たす目的や役割、洪水時の心構えなどについて説明がありました。



◀ 工務第三課外山課長による講義の様子



▶ 皆さん熱心にお話を聞いていました

児童の皆さんからは洪水時、「避難する途中で、親とはぐれたらどうすればよいか」など沢山の質問が出されていました。



あいぽーとで総合学習が行われました



▲カスリン・アイオン台風の資料映像を視聴

平成27年1月28日(水)に一関市立中里小学校の5年生児童35名があいぽーとで総合学習を行いました。

北上川学習交流館あいぽーと 齋藤事務局長よりカスリン・アイオン台風の特徴や被害、なぜ洪水常襲地帯なのかを資料映像や一関遊水地の模型などで説明がありました。また、事前に一関市を襲った台風や治水事業について学習してきたということで、沢山の質問が出されていました。



▲集中管理センターの役割について説明



▲一関遊水地の模型で事業説明



▲航空写真で狭隘部の説明

◆◆編集後記◆◆あつという間に1月も終わってしまいますね。「一年の計は元旦にあり」ということわざがありますが、皆さんは計画どおり進んでいますか。私は小さな目標に向かってコツコツと努力を重ねていきたいと思っております(*^_^*)(す)